

施策評価シート （評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 市政参画の促進	② 施策番号	1101
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 市民参画・協働の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	秘書広報課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	全市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	活動を支援することにより、市民活動が充実する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態、今後どのように変化していくと考えられるか)	市政運営での市民参画は必要不可欠であり、国や府においても民活力の導入は積極的に取り入れることにより経費の削減や新たな発想が期待される。今後もより多くの市民参画、協働が推進されていく。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 計算式	回	市民が自主的に市政に関連するイベントや研修、講義を企画することにより、多くの方々の市政参画が図られる。
② 計算式	人	市政に積極的に参画し、様々な方面で活躍された方々を表彰することにより、他の模範となるとともに、更なる市政参画意欲の増大を見込む。
③ 計算式		

指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
① 通知及び承認した数	回	目標値	200	200	200	220	220	
		実績値	188	196	215	—	—	
		達成率	94.0%	98.0%	107.5%			
② 表彰者数	人	目標値	25	25	25	20	20	
		実績値	24	23	20	—	—	
		達成率	96.0%	92.0%	80.0%			
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性
1	秘書事務事業	通知及び承認した数	件	196	215	220	11,679	11,342	11,636	A	ア	○
2	表彰事業	表彰人数	人	23	20	20	3,918	3,741	3,754	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						15,597	15,083	15,390			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市民の意欲を高めることにより、積極的な市政参画を期待する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	より多くの対象者が発生することにより、市政の活性化が見込まれる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民の自主的な参画を期待するものであり、市の支援は適切である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	市民の自主的な参画を期待するものであり、適切である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市民の自主的な参画を期待するもので、縮小化にはなじまない。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	市政参画意欲の向上。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	他方面にわたる表彰対象者の抽出。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	他方面にわたる表彰対象者の抽出。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	他方面にわたる表彰対象者の抽出。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	構成する事務事業による市政参画の促進に向けた取組が適切に実施されている。 引き続き市民が市政に積極的に参画される取組を進められたい。	